

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
福島県会津坂下町	川西地区（八日沢）	令和3年11月12日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	79.1 h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	54.5 h a
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	0.8 h a
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.8 h a
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	h a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	24.6 h a
（備考）	

2 対象地区の課題

【現状】 この地域は、会津坂下町の北西部に位置し、町道八日沢線沿いに田が集まっており水稻ときゅうり栽培を中心とした営農が行われている地域である。 本集落は、農家戸数は比較的多い集落であり、今後10年間は担い手がいるが、後継者不足が顕著になってくる。しかし、今後も継続できる担い手が3戸あるため、今後はその中心経営体へ農地を集積・集約化していくことが予想される。 【課題】 ○後継者不足が顕著であり、若手で農業をやりたいという人が少ない。 ○地区内での農地集積が進んでいない。 ○地区内で大規模な農業法人が存在しない。 ○隣接地区で人・農地プランを作成しておらず、中心経営体の出作の作業効率が悪く規模拡大が難しくなっている。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

【集落農業の目標（将来像）】 ○稲作ときゅうり等の園芸作物を中心とした農業を継続していく。 ○中心経営体が離農した余力ある農業者をできるだけ雇用していく。 ○八日沢区でプランを作成後、数年後には八日沢区が中心となり、見明区や大上区等の隣接行政区を取り込んだ広域プランを作成していく。 ○将来的に農業法人を立ち上げ農地の集積・集約化を図る
【課題解決に向けた取組み】 ○担い手を支援できるような仕組みづくりを農家と非農家が協力して実施する。 ○広域的な多面的機能支払い交付金事業の活動を実施し、農家と非農家が協力して農地保全等の取組を維持・発展させていく。 ○小区画田を大区画田にするため、できるだけ負担金が少なく済むように補助事業を活用しながら土地改良事業を実施する。 ○隣接地区と広域的な人・農地プランを作成する。 ○農業法人を立ち上げる。

【農地集積・集約の方向性】

○当面の中心経営体として下記の農家を位置づけ農地を集積・集約化する。

【中心経営体の役割】

○将来に渡る集落農業の継続に向けた生産基盤・経営基盤の強化・発展に努める。

【農地委託農家の役割】

○中心経営体が今後の集落農業の担い手であることを考慮しつつ、可能な限り自作地の維持・保全に努める。

○中心経営体への委託にあたっては、可能な限り作業委託を選択するように努める。

○中心経営体への農地委託にあたっては、農地中間管理機構を通じて契約するように努める。

4 本地区における中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農		水稻、きゅうり	9.51 ha	水稻、きゅうり	30.3 ha	八日沢
認農		水稻、こんにゃく、おたねにんじん	5.43 ha	水稻、こんにゃく、おたねにんじん	30.43 ha	八日沢
		水稻	3.6 ha	水稻	18.37 ha	八日沢
			ha		ha	
			ha		ha	
計	3人		18.54 ha		79.1 ha	